

平成26年度 自己評価報告書

対象期間 自:平成26年4月1日
至:平成27年3月31日

平成27年6月

1. 学校の教育理念および教育方針

本校では、教育理念、教育方針を以下のように定めている。

<教育理念>

1. 誠実な人材の育成
時代が変化する中でも、職業人として「誠実な」生き方ができる人材の育成をしていきます。
2. 誠実な教育の実践
時代や学生の要求する知識・技術が習得できるように誠実な教育を実践していきます。
3. 誠実な学校
学校が、地域社会の一構成組織体として、社会に範たる存在となることを目指していきます。

<教育方針>

1. 「実践・実務教育」
資格取得や技術を習得して、社会貢献できるための「実践・実務教育」を行い、プロフェッショナル(理論と応用及び実践力を備えた職業人)を育成していきます。
2. 「個育成教育」
個々人の創造性・独創性や、持っている能力を最大限引き出すための「個育成教育」を行い、クリエイティブ(創造性・独創性)で、何事にも積極的に取り組む人材を育成していきます。
3. 「全人教育」
専門知識で裏打ちされた豊かな人間性を育成するための「全人教育」を行い、ヒューマニティ(幅広い専門知識に裏打ちされた豊かな感受性)に満ちた人材を育成していきます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 資格取得率の向上や高度な資格検定へのチャレンジを推進する。
2. 自己の適性を見極め、希望する職業への就職を推進し、定着に努める。
3. 習得した知識や技術を社会で活用し、応用できる実践的な職業教育を行う。
4. 業界や地域社会と連携し、最新の実務・知識を反映したカリキュラムの策定、教育方法の工夫を図る。

3. 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・教育方針・目的・育成人材像等

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
2	学校における職業教育の特色は示されているか	4	3	2	1
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

【評価項目1、2】

・学校の教育理念は明確に定められ、教育方針により職業教育の特色は示されている。

【評価項目3】

・地元の企業・団体からのニーズにいち早く対応できるよう、教育および就職の観点から積極的に情報収集を行い、学科およびコースの再編、新設学科の検討を行っている。

【評価項目4】

・入学時のオリエンテーションにより、学生および保護者に対して資格取得の動機付けを明確にしている。
・本校の目指す教育理念・方針・目的・育成人材像について保護者もさることながら、学生に伝わっているかはっきり見えない。
・学生に対し学生便覧およびシラバスを配布しているが、保護者や外部に対しては学校の教育方針等についてあまり浸透していない。
特に校名の変更について周知が不足しており、設置学科の教育内容について理解されるに至っていない。

【評価項目5】

・全般的に資格に対する指導となっているため、資格取得は達成されていると思うが、実務に対する指導は不十分である。

②今後の改善方策

<p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・業界団体との連携をより一層強化し、社会経済のニーズを踏まえた学科・コース編成を行っていく。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と接する機会を増やし、教育方針や教育活動について説明を行っていく。 (平成27年度は入学式のオリエンテーションに実施する) ・三者面談実施時に学科の教育内容、学校の教育活動等についても説明を行い、保護者への浸透を図る。 <p>【評価項目5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携を深め、知識だけでなく実践的なスキルを身に付ける様なカリキュラムを考える。
--

③特記事項

--

(2)重点目標

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	資格取得率の向上や高度な資格検定へのチャレンジを推進する。	4	3	2	1
2	自己の適性を見極め、希望する職業への就職を推進し、定着に努める。	4	3	2	1
3	習得した知識や技術を社会で活用し、応用できる実践的な職業教育を行う。	4	3	2	1
4	業界や地域社会と連携し、最新の実務・知識を反映したカリキュラムの策定、教育方法の工夫を図る。	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の他、放課後の個別指導も含め積極的に資格の取得率の向上に励んでいる。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人個人の適性を見極めた上での就職指導は今後も継続して工夫を図る必要がある。 ・自己の適性と希望する職業がマッチングせず、就職に苦労する学生も多い。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上での学習で完了し、実践的実技が欠けている部分が見受けられる。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会を開催すること、また、業界団体の会合に出席し、業界のニーズを把握するよう努めているものの、授業に関連する業界や地域社会との連携を更に増やす必要がある。 ・ビジネスキャリア科のカリキュラムは資格取得を主として、就職活動に活かしていくものと考えている。しかしながら会計事務所や経理事務においては秋田では経験者の採用を重視する傾向にあり、学生の就職については学校に届く求人に頼っているのが現状なので、カリキュラム策定において実務に関わるインターンシップが可能かどうか模索していく必要がある。
--

②今後の改善方策

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な資格目標だけでなく、よりスムーズで段階的な資格取得ができる仕組みをカリキュラムの中に網羅しておく必要がある。 ・教員間で出題範囲等の研究を更に深めると同時に、補習等で学生の弱点克服のフォローができる体制を作る。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経理系の就職先を得るために就職支援課と連携して、少しでも多くの求人票を得られるように活動し続けていかなければならない。 ・面談等を通して本人の希望する職業を確認し、その職業に必要な知識や技能を指導していく。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディの実技時間を設け応用できる力を養う。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在連携している企業を通じて連携企業を増やしていく。 ・企業人の講話・セミナー等を開催し、人材のニーズの変化について、学生に周知できる機会を増やす。
--

③特記事項

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策授業、模擬試験、eLearningの活用によって一定の成果は上げているが、高度な資格については合格率が伸び悩んでいる。 ・高度な試験のみ追求して不合格になった学生のフォローができるカリキュラム編成も検討する。

(3) 学校運営

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

【評価項目1、2】
 ・運営方針を事業計画・予算に反映させ、組織として活動できるようにしているが、教職員全員が共通認識を持っているという理想的な状態までは到達していない。

【評価項目3】
 ・寄附行為及び組織図に明記され、運営されており、組織改編を積極的に行うことにより有機的な機能を図っている。
 校長が教育的な観点から学校経営を行っている。

【評価項目4】
 ・法人(学園)において規程を定めている。目標管理に重点を置いた自己評価制度である勤務評価書を教職員全員が実施しており、人事評価に用いている。

【評価項目5】
 ・法人(学園)の規程に則って整備されているが、意思決定システムについては今後さらなる研究・検討をしていきたい。

【評価項目6】
 ・教育に携わる者として法令順守は当然であり、特に個人情報保護については、体制を強化している。
 ネットワークセキュリティも整備している。

【評価項目7】
 ・Webサイト等を通じ教育活動の公開を行っている。また、自己評価および学校評価をホームページより公開している。
 ・情報公開については、ホームページを通じて随時行われている。
 ・中学生・高校生からの学校見学を積極的に受け入れている。

【評価項目8】
 ・新教務データベースに移行されたばかりでまだ効率化に貢献していない。
 ・教務の情報管理について統一されていない部分があり、また、学生部との情報の共有が不十分である。

②今後の改善方策

【評価項目1、2】
 ・年度当初の教職員会議だけでなく、四半期ごと等に運営方針に沿った運営がなされているかの検証、確認を行う。

【評価項目7】
 ・ホームページを通じた情報公開までのタイムラグをできるだけ短くする。

【評価項目8】
 ・教務データベースを活用し、教務部・学生部で学生に関する情報を共有する。

③特記事項

(4)教育活動

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科ごとの目標について、学生便覧およびシラバスに記載し、全学生に配布している。 また学科主任によって、年間の資格取得目標を掲げ科目担当に周知している。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科ごとに、資格受験のスケジュールに合わせカリキュラムを作成するとともに、卒業までに取得すべき資格を学生に提示している。 シラバスに科目関連図を記載し科目ごとの習得のレベルを表記している。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の目標達成度を元に、常勤講師・外部講師の意見および授業評価アンケート等をふまえ、次年度のカリキュラムの策定を行っている。 <p>【評価項目4、5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会を開催し、関連分野の人材育成にかかわる情報に基づきカリキュラムの策定にあたっている。 ・研究開発や検定試験対策等を行うための自主学習時間枠の概念をカリキュラムに取り入れておくことも必要ではないか。 <p>【評価項目6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学科、就業体験としてのインターンシップを実施するとともに、病院実習およびホテルにおける実習等では、3週間を超える期間、現場にて実践的な実習を行っている。 <p>【評価項目7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度より全学科全科目について学生による授業評価アンケートを実施、評価を行っている。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者(関連する企業・団体、高校教員、卒業生、地域住民等)による学校関係者評価委員会を開催し、意見交換等を通じて自己評価結果について評価し、教育活動等の改善を行っているが、サイクルがまだ確立されていない。 <p>【評価項目9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進級・卒業判定会議を実施し明確になっている。 <p>【評価項目10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに沿った授業を効率的に行っているが、個々の学生に対しての学習ケアにさらに取り組む必要がある。 <p>【評価項目11、12】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の数が十分とは言えない。特に若い人材が少なく、今後の学校運営を考えた人材の確保が必要である。 ・業界の動き、技術の変化に対応して、優れた教員を確保するための取り組みを行っていない。 <p>【評価項目13】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上を図るための研修を積極的に推進している。 ・教員または講師の絶対数が足りないため、外部からの見学やスキルアップ研修に対応するには時間割上の工夫が必要となる。
--

②今後の改善方策

【評価項目4、5】	・教育課程編成委員会や様々な企業との連携を通じて、最新技術や業界ニーズの把握に努め、実践的なカリキュラムの開発を進める。
【評価項目6】	・学科に関連する企業との連携を深め、更なるインターンシップ先の確保と内容の充実を図る。
【評価項目7】	・平成26年度より授業評価アンケートを実施、評価によりカリキュラムを検討していく。
【評価項目8】	・自己評価・学校関係者評価の結果と改善方策を、次年度の目標設定や取組に反映していく。
【評価項目11、12】	・業界の動向やニーズを的確に捉えて授業に反映出来る教員を確保する。 ・先端的・実践的な科目の導入に向けて、研修会・勉強会に積極的に参加するとともに、企業と連携し、指導できる人材を確保する。
【評価項目13】	・各教員の担当時間数の平均化を図り、知識・技術等の研修や指導力育成など資質向上のための取組を行う時間を確保する。

③特記事項

【評価項目3】	・教育課程編成委員のアドバイスを得て最新のものを取り入れて行きたい。
---------	------------------------------------

(5)教育成果(学修成果)

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
3	退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

【評価項目1】	・就職希望者における平成25年度の内定率は96.7%、平成26年度は98.6%、と向上している。
【評価項目2】	・資格取得に関しては、合格レベルに達していない学生に対するフォローが必要である。
【評価項目3】	・平成25年度の退学者は6名(3.6%)、平成26年度は7名(3.9%)であった。 ・個人面談・保護者への連絡等、定期的に行っている。 ・全体としては、就職率・資格取得率の向上が認められるが、退学を希望する学生の状況把握や対応は、まだ改善の余地がある。
【評価項目4、5】	・卒業生の状況把握が不十分である。

②今後の改善方策

【評価項目2】	・学生の理解度に応じて、段階を踏んで資格取得に向かわせるなどカリキュラムを工夫する。
【評価項目3】	・個々の対応をしっかりと行い、問題を早期に見つけ解決する。 ・外部の専門家との連携を図る。 ・教務データベースを活用し、教職員間の情報共有を密にしていく。
【評価項目4、5】	・卒業時に確実に連絡がとれる連絡先を確認して定期的に連絡を取ることで卒業生の十分な状況把握に努める。 ・卒業生の状況(キャリア意識、離職者等)について調査を行い、教職員間で情報共有を行う。

③特記事項

【評価項目2】	・高度ITエンジニア科(3年課程)の目標と入学生の学力面でミスマッチが起こることが多い。 学生は3年間ゆっくり学ぼうという考えのため、学科目標とする高度な資格の取得につながらない。
---------	---

(6) 学生支援

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
7	保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任が学生への全体的なキャリア教育、個別対応を行っている。 ・窓口として、就職支援課およびキャリアコーディネーターを設置し、求人情報・企業情報の統合化を図り、企業と学生のマッチングを図っている。また、ハローワーク(ジョブサポータ)との連携を図っている。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導、就職活動等について学生の対応はクラス担任が中心に行っているため、学生にとってはわかりやすいが、教職員に負担になるケースもある。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「奨学金制度」を担当部署と連携して、学生への案内・書類の取りまとめをしている。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室を設置し、教職員を中心に体調不良等の対応を適宜行っているが、設備が十分ではない。 <p>【評価項目5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会、学園祭等の学校行事については、学生が主体的に運営を行い、教職員が支援する体制となっている。また、自主的に学習・研究活動を行うサークル活動を支援している。 <p>【評価項目6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業および学校生活での支援は行われているが、プライベートの時間や活動に関してはほとんど関わっていない。 <p>【評価項目7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に三者面談を実施している。また、学業・出席状況、健康状態、就職活動について随時保護者と連絡をとり、必要があれば面談を実施している。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後も相談に来る学生へは就職支援を行っているが、継続的な支援体制というものはない。 <p>【評価項目9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簿記の授業について、資格対策を目標にした聴講生(社会人)の受け入れを行っている。 <p>【評価項目10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生のキャリア教育の一助として、商業系(経理、観光)、工業系(情報)、各分野の出前授業を行っているが、全ての要望に対応できるほど全学科のテーマが充実していない。

②今後の改善方策

<p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有を行い、複数の教員で学生への対応ができる(相談内容によって担当者を割り当てる)体制をつくる。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により修学が困難な学生に対する授業料減免制度を平成28年度に創設する準備をしている。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の健康管理に関しては専門的な方が必要だと考えられるので、組織体制が必要であれば専門医を配置する。 <p>【評価項目8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生とメール・電話等で定期的に連絡ができるか検討する。 ・卒業生への支援体制については、年一回の同窓会総会への参加の「声かけ」を通じて、状況を把握する。 <p>【評価項目9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・業界団体等と連携体制を確保し、ニーズの把握、教育環境の整備に努める。 <p>【評価項目10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度始めに計画を立て、高校生を対象とした模擬授業や出前授業のテーマの充実を図る。
--

③特記事項

--

(7)教育環境

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化はしているがメンテナンスをこまめに行っている。 ・PC、プロジェクター等更新が必要な設備機器が存在している。 ・情報機器やネットワークの性能低下、故障等に即時に対応できないケースがある。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、放課後の教室および実習設備は勉強のために解放している。 ・インターンシップについては、就業体験を目的としたもの、また技能を高める実践的なものは、学科単位で運営を行っている。 また、就職におけるマッチングを目的としたインターンシップは、就職支援課が運営を行っている。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年一回の防災訓練を通じて、防災への重要性を再認識している。 ・自動体外式除細動器(AED)を設置している。 ・学生および保護者への緊急連絡網を整備している。
--

②今後の改善方策

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全に修理が必要な個所については早期に修理をして、費用が大きにならないようにする。 ・計画的に設備更新を行う。 ・平成27年度にネットワークを再構築を行う。また、故障に備えた代替機・新規導入を図る。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬消火器を使った訓練や定期的なAED講習を実施する。 ・平成27年度に非常時の学生への連絡体制を整備するツールとして学生用サイトの利用を推進する。

③特記事項

--

(8)学生の募集と受け入れ

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア学園の周知を図る。(2校体制になったこと、秋田コアビジネスカレッジへの校名変更および秋田リハビリテーション学院開校) ・少子化による入学者減少への対策が今後の課題である。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業実践専門課程認定、就職率をアピールする。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学納金については、年度ごとに学科単位での見直しを行い決定している。

②今後の改善方策

<p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験講座の内容を改善し、オープンキャンパスの集客率アップを図る。 ・配布資料を改善し、より訴求力のあるものを作成する。
--

③特記事項

--

(9) 財務

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1、2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画に基づき、資金計画を立てている。 ・25年度に校舎の改修工事を無借金で実施したため、現預金が減少した。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園監事による監査の他、公認会計士による会計監査を半期に1回行っている。 ・会計士には日常の会計上のアドバイスを受けている。 <p>【評価項目4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上において財務情報を公開している。

②今後の改善方策

<p>【評価項目1、2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年事業計画に則って教育の質に重点を置いた上で、小規模予算ながらも収支の均衡のとれた予算を策定する。 ・予算執行において、その管理を月単位で行う。
--

③特記事項

--

(10) 法令等の遵守

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法および専修学校設置基準や、関連法令は学内規定を遵守しており、事務部が窓口となり、設置基準に係る関係所管と逐次相談の上、運営を行っている。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法及び学園機密保護管理規定に基づき、学生の情報を適切に保全している。 <p>【評価項目3、4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を実施しWebサイトで公開しており、その結果に対して学校関係者評価委員会を2回実施し、改善案について協議を行っている。 ・日常業務対応を振り返る時間の確保ができていない。

②今後の改善方策

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員への法令への更なる周知を徹底する。 <p>【評価項目3、4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科内で時間を作って自己評価の情報を共有検討する。 ・自己評価について、外部からみて明解な表現を用い、改善案の提言を促す。
--

③特記事項

--

(11)社会貢献

	評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

①取組・成果・課題

<p>【評価項目1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簿記検定などの検定試験会場として、一般の外部受験者を受け入れている。 ・地域の住民向けのPC講座を無料で実施している。 <p>【評価項目2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所主催のイベント、サッカーチームや福祉施設でのボランティアへの参加を推奨、実施している。 ・学科によってばらつきはあるが、積極的にボランティアに参加している。 <p>【評価項目3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「パソコン講習」「簿記講座」「介護職員初任者研修」等の本校独自の講座を実施している。 ・求職者支援訓練、高齢者向けの講習などを継続して受託し実施している。 ・地域の実情に合った講座が提案できているかはっきり見えない。
--

②今後の改善方策

<p>【評価項目1、3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCを中心とした講座にとどまらず、学科の特徴を活かした講座を実施する。 ・近所や近隣の住民と直接対話できるような機会を設ける。
--

③特記事項

--